

子どもとテレビ

院長

4月に日本小児科学会から乳幼児のテレビ・ビデオについての提言が出されました。今回は、子どもに対するメディア、特に乳幼児のテレビについて考えてみましょう。

テレビの悪影響で、すぐ思い浮かぶことは視力への影響でしょう。テレビを見ると目が悪くなるということは誰でも思い浮かぶことだと思います。実際に健診では「近くでテレビを見ているが大丈夫か」という相談はありますが、どのくらいの時間テレビを見せていいかと聞かれることはほとんどありません。

さて、テレビの問題とは、いったい何でしょうか。長時間テレビを見ている子どもたちで、言葉が遅れる、視線合わない、表情が乏しいと訴えて小児科医を受診し、テレビを見せないようにすると症状が改善する例があることが最近報告されるようになりました。

小児科学会が行った17～19ヶ月児の調査では、4時間以上テレビを見ている児と8時間以上見ている家庭で、テレビの悪影響が確認されました。4時間上の児では4時間以下の児と比べて、意味のある言葉の遅れが1.4倍も高いことが示されました。また8時間以上の家庭では割合が高く、それに加え4時間以上の児では言葉の遅れが2倍高いことも指摘されています。もう一つはテレビを見ている時の親のかかり合いの違いも大きな影響があると指摘されています。4時間以上テレビを見ている児に対して親のかかり合いが少ない場合は言葉の遅れが著明で、2.7倍も高いとされています。

それでは、テレビは悪影響だけなのでしょうか。決してそうではありません。親子一緒にテレビを見て、歌ったり、笑ったり、質問したり、コミュニケーションの一つの道具です。番組の記憶から、テレビ後もコミュニケーションも生まれます。年長になれば、テレビの話題から会話が生まれ、友人とのコミュニケーションに役立つこともあるでしょう。

先日、テレビの番組で早期教育のことが取り上げられて

いました。人間の脳はだいたい3歳位までに完成するので、その間の教育が重要という考えがあります。乳児期からビデオを見せたり、幼児期早期からの英会話など、早期教育が流行しています。この時期に学んだことは一生忘れないなどが、この教育の根拠になっているようです。しかし、現実にはどうでしょう。乳幼児期の海外生活で英語がペラペラでも、日本で暮らすようになり何年もたつと全くしゃべれなくなることは珍しくありません。人間の脳は様々な情報を自然に吸収しながら、成熟していくものと考えられています。一つ覚えると一つ忘れるのが、覚えることの仕組みです。未熟な脳に無理矢理詰め込み過ぎるとかえって歪みを引き起こす可能性があり、乳児期の教育は害はあっても利は無いと結論付けられていました。

一般に言葉は、人とのかかわりあいの中で覚えていくことなのです。意味が分からない言葉の受け渡しから始まり、人との関係の中で言葉の意味を覚えていくことが本来の姿なのです。また、かかわりあいの中から言葉だけでなく様々なことを学んでいくのです。そのような理由からテレビやビデオのような一方方向の刺激だけでは、言語能力は発達しないとも考えられているのです。

今回の記事で気付いてほしいことは、テレビが子どもの発達に悪影響をおよぼす可能性を知ってもらいたいのです。今回紹介した内容は絶対的なものではなく、異論を唱える人たちもいます。このような研究が盛んに行われ、様々なことが明らかになってくるでしょう。しかし、子どもたちに害を与える可能性がある場合、それを避けて通るのが親御さんの役目です。もちろんテレビの良いところも、もう一度確認して下さい。要はテレビの使い方です。うまく使う方法を知っておく必要があるのです。最後に、小児科学会の提言を示します。これからのテレビとの付き合い方の参考にしましょう。



6月のお知らせ

- ・ 栄養・育児相談
- 毎週水曜日 13:30～
- ・ 栄養士担当
- ・ 学生実習(東北大学医学部)

6月11日(金)

- 提 言
1. 2歳以下の子どもには、テレビ・ビデオを長時間見せないようにしましょう。内容や見方によらず、長時間視聴児は言語発達が遅れる危険性が高まります。
 2. テレビはつけっぱなしにせず、見たら消しましょう。
 3. 乳幼児にテレビ・ビデオを一人で見せないようにしましょう。見せるときは親と一緒に歌ったり、子どもの問いかけに応えることが大切です。
 4. 授乳中や食事中はテレビをつけないようにしましょう。
 5. 乳幼児にもテレビの適切な使い方を身につけさせましょう。見終わったら消すこと。ビデオは続けて反復視聴しないこと。

読者の広場

先月は、43通のメールを頂きました。相談事のメールも多かったのですが、

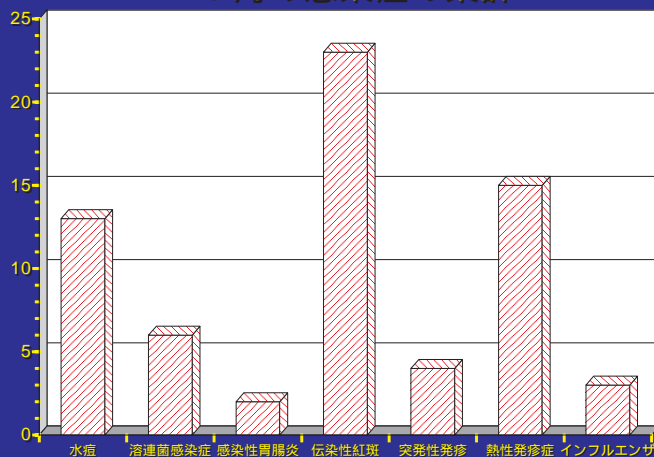


いつものように何通か紹介したいと思います。まずは青葉区の藤田さんからです。「初めてメールしました。先日、薬の誤飲で診て頂いた藤田一樹の母です。心配して下さった先生と看護婦さんに早く報告を...と思い、朝イチでお電話したのですが、どうやら私は実家に帰省した時に受診した小児科に電話してしまったようです。看護婦さんからのお電話で気づきました。一日心配をおかけして申し訳ありませんでした。おっちょこちょいの性格なので、誤飲の事故を起こしてしまうんですね。反省しています。昨日は本当に先生の言葉に救われました。私は新潟が実家で、帰省先で、プール熱にかかり、急患センターや実家付近の小児科を何度か行きましたが、いつも物足りなさを感じていました。それはかわむら先生の丁寧な説明と母親に対するケアもしてくれる所なのだなあーと感じました。忙しくてもメモを手渡してくださったり...看護婦さん達も子ども達によく声をかけてくれますよね。これからも、子どもはいつ病気になるかわかりませんが、すぐに走って行ける所にかわむら先生がいてくださるので安心して子育てができます。これからもよろしくお願いします。」。続いて青葉区の丹野さんからです。「今日の午後に診てもらった、丹野樹己の母です。1歳6ヶ月検診の話を聞いて頂き、ありがとうございました。先生から詳しくお話してもらい安心できました。診察後も看護婦さんの方が優しい言葉をかけてくれてうれしかったです。今まで青葉区役所の検診や予防注射などで何度か嫌な思いをしているので先生の病院で全てできればなあ、いつも思っています。これから気になるようなことがあったら即先生のところに行こうと思いますので、よろしくお願いします。先生も風邪などひかないように、これからもがんばってください。それでは、失礼致します。」。続いては宮城野区の福さんからです。恥ずかしいということで、匿名にしました。「4月の下旬にロタウィルス嘔吐下痢症にかかり、おかげさまでやっとやっと元気になりました。の吐き気がおさまらず、熱もでて、点滴が3日間続いた時は心身共に辛いものがありました。それをどうにか乗り越えられたのも先生をはじめ看護婦さん、スタッフの方々のお陰です。先生からいただいた「何かの時の名刺」や看護婦さんからの電話がどれだけ心強かったことか。感謝の気持ちでいっぱいです。どうもありがとうございました。今回、我が子の病気を通して、つくづく「人間って一人じゃ生きていけないんだなあ。身内だけでもやっていけないなあ。たくさんの人の力を借りていかないと子育てってできないんだなあ」と感じました。先生の診察があって、看護婦さんからの励ましがあって。そして、待合室で点滴をしている時も何人もの方から「大丈夫?」とか「うちの子も前に点滴やったのよ。すぐに良くなるよ。」などと声をかけていただきました。子どもがつらそうにぐずってて、自分も「はあ-」となっている時、みなさんから声をかけていただいたのはとてもうれしかったです。我が子が病気にかかるのは嫌ですが、今回は、考えさせられることも多々あり、「マイナスなことばかりではなかったかな?」と思いました。以前、知り合いから「はじめから立派な親なんていない。子供が産まれて、子供に親になるように育ててもらうんだ。」と言われたことがあります。本当にその通りですね。これからもは病気したり、怪我したり、その他良いこと悪いこと含めていろいろな問題を起こしていくのですが、それを経験していく中で、私も勉強して親らしくなっていくのでしょうかね。どうぞこれからも、母子共々アドバイス等よろしく願いいたします。本当にお世話になりました。ありがとうございました。追伸：一日病院で点滴をして感じたのですが、先生、看護婦さん、スタッフの方、休憩時間が本当に短いですよ。どうぞお体に気をつけて。いつも笑顔なのは尊敬してしまいます。私も見習わなくては」。お母さん達の気持ち、すごくよく伝わってきます。本当にいいメールです。ぜひ皆さんも参考にしてください。お母さん達も様々な経験で、子どもと一緒に学び強くなっていくのです。これからも応援していきますよ。スタッフの休み時間まで気にかけてくれて、ありがとうございます。

2004年度 第2回『お母さんクラブ』の御案内

第2回の『お母さんクラブ』を、6月24日(木) 14:00~ 福沢市民センターで開催します。栄養相談の新しい協力メーカーによる栄養話です。詳細は決まり次第掲示します。会員以外の参加も可能です。御参加ください。

5月の感染症の集計



伝染性甲は紅斑が大流行しています。一般的には症状も軽く、ほほの赤みと手足の発疹だけのことがほとんどです。ただし妊婦さんが感染すると、胎児に異常を来すことがあります。注意が必要です。不思議なことに夏に多い病気の傍ら、わずかですがインフルエンザも2家族に見られました。相変わらず高熱の出るアデノウィルス感染症が多く見られました。また寒暖の差が激しいのか、喘息も多く見られています。

編集後記

たくさんのメールありがとうございます。自分だけでなく、スタッフ全員に目を通してもらっています。本当に励みになっています。今回事務スタッフの入れ代わりがあり、皆さんには御迷惑をお掛けしています。体調不良とか一身上の都合だそうです。また新しいスタッフが入ります。よろしくお願いします。



東北放送ラジオ 毎月奇数木曜日 「漢太のウキウキラジオ」 13:10~ レギュラー出演中

「小児科がやさしく教える 赤ちゃん・子どもの病気」 残部少なくなりました。購入はお早めに!!